

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

学部学生の聴講も歓迎

Zoom によるオンライン講義

参加希望者は当日 16 時までに、下記に連絡をお願いいたします
記

1. 講師 東海大学

工学部 精密工学科

マイクロ・ナノ研究開発センター

槌谷 和義 教授

2. 演題 視る・診る・看るためのセンサ開発

3. 日時 令和3年9月2日(木)

17時00分 ~ 19時00分

私たちのグループでは、日々の健康管理を通しての予防医療を目的とした、ほぼ無痛で血液を採取することが可能な「雌蚊の血液吸引メカニズムを模倣」して設計された血液採取が可能なウェアラブル健康監視システムの開発を行ってきました。

現在ではそれらの要素技術を基に、死に至るケースが多い隠れ熱中症を検出できる皮膚貼付型熱中症フレキシブルセンサの開発や、口腔内の pH 変化より精神的なストレス変化から肉体的な疲労を可視化するためのマウスピース型センサの開発により、連続的に生体情報の変化を観察できるデバイスの開発を試みております。

本講義では、様々な指標の数値化を目標としたセンサ開発についてご紹介させていただきます。

連絡先 中禮 宏 (スポーツ医歯学分野 chu.spmd@tmd.ac.jp)